

第1学年 *組 国語科学習指導案			
平成28年*月*日(*)第*校時 **教室 指導者** **			
育成する国語の能力	課題解決に向けた論理的思考力を育てる		
単元名	「デジタル・デバイスと自己責任」の結論に向かうオリジナル論理展開づくり		
単元目標	<p>○優れた表現に接してその条件を考えたり、書いた文章について自己評価や相互評価を行ったりして、自分の表現に役立てようとする。(関心・意欲・態度)</p> <p>○論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめることができる。(書く能力)</p> <p>○文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにできる。(知識・理解) (〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕のイの(1))</p>		
単元の評価規準	関心・意欲・態度	書く能力	知識・理解
	事実や事柄などを、対象に忠実かつ正確に、読み手によく分かるよう具体的に説明しようとしている。	「現状認識－問題提起－解決－結論－展望」など、文章の組立てや進め方を工夫して書いている。	書くことに必要な、語彙の構造的な仕組みについて理解している。
取り上げる言語活動	出典を明示して文章や図表などを引用し、説明や意見などを書く。		
題材(教材)	「デジタルデバイスと自己責任」(第一学習社 国語総合)		
単元(教材)について	<p>(1)生徒観：実施クラスは第1学年7クラス中、現代文を担当している2クラス。40人構成で、普段から短時間のペアワーク等を1コマの中に数回取り入れていて、意欲的に自分の考えを相手に伝え、相手の意見にも耳を傾ける態度は身につけている者が多い。要約についても前向きに取り組んでいるが、時間がかかることや、単なる抜き出しで終わってしまうことが多く、筋道の立った要約とまでは行かない。</p> <p>(2)教材観：テーマに対する結論について、その説明の過程を生徒一人ひとりが考える作業を体験することで、論理的な思考の手順を理解する。そのために、テーマ・主張ともに身近で分かりやすい本教材を活用し、読解の際に論理的に展開を迫る力の育成を目指す。</p> <p>(3)指導観：これまで評論文の展開についての図式化や、小論文を書いてその文章を生徒同士で図式化する訓練を重ねてきた。それらを踏まえ、グループワークでKJ法を用い論理展開を話し合い、そこで培った論理的思考をもって要約力を高めたい。</p>		
指導計画(学習計画)	主な学習活動		主な評価
	<p>1 ○論理的思考の重要性を理解し、要約の方法について理解する。</p> <p>○実際に評論文を要約し自己分析する。</p> <p>2 ○グループに分かれ、提示されたテーマと結論をもとに説得力を持たせるために必要な論理展開についてKJ法を用いて話し合う。</p> <p>○各グループに配付した発表用のシートをまとめ、発表の際の役割分担を考える。</p> <p>3 ○前時でまとめた原稿をもとにグループごとに発表し、聴いている生徒は評価用紙に記入する。</p> <p>4 ○ここで初めて本文を読み要約をし、自</p>	<p>○自分が書いた文章を評価し、直すべき点を明らかにしようとしている。(関心・意欲・態度)</p> <p>○手順や理由を、順序や論理を追って読み手によく分かるよう論理的に説明している。(書くこと)</p> <p>○自分の考えが、根拠から妥当な論理の展開で導き出されていることを相手に分かりやすく示している。(話すこと・聞くこと)</p> <p>○書くことに必要な文章の組立てについて</p>	

	分たちの展開との違い等について考える。	理解している。 (知識・理解)
本 時 案 (第 2 時)		
本時の目標	手順や理由を、順序や論理を追って読み手によく分かるよう論理的に説明することができ (書く能力)	
学習活動	指導上の配慮事項など	評価・方法など
〈導入 5 分〉 1 本時の目標を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・前時までの学習内容を振り返る。 ・本時の目標を確認する。 	
「論理展開」という言葉を用語としてではなく、活用できる力として身に付けよう。		
〈展開 4 5 分〉 2 5人ずつのグループになり、ワークシートを配付し活動の説明を行う。 3 グループでの話し合い (1) 提示されたテーマと結論をもとに、KJ法で意見を出し合う。 (2) グループで一つの展開図を完成させる。 (3) 発表用のシートに整理する。	<ul style="list-style-type: none"> ・円滑な話し合いができるように、手順やルールについて注意を促す。 ・発表用シート、付箋を配付する。 ・出てきた要素、項目について論理の一貫性を持たせるために取捨選択させる。 ・客観性をもって、読者が納得できる展開を見出す力を習得させる。 ・円滑に進められるよう役割分担を明確にして進めさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の組立てや進め方を工夫して書いている。 (書く能力) 評価の方法 発言の観察 シートの確認 (規準に達していない場合の手立て) ・出し合った要素について、特徴等が見つけられるよう促し、整理できるよう導く。
〈まとめ 5 分〉 4 次回の発表に向けて、自分たちの論理展開についてコンセンサスを図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・発表の際の役割分担を話し合う際に、全員が発表内容を共有できるよう促す。 	